

3. 新たな民族運動の発生 a. 文学革命と五・四運動 p295~

1914年にはじまった[1 第一次世界大戦]で列強の目がヨーロッパに集中しているすきに、中国へのいっそうの露骨な侵入をはかったのが[2 日本]であった。この国は1915年[3 袁世凱]政権に対して[4 21カ条]要求をだしその承認を迫ったため、この政権はやむなくそれを承認した。しかしこうした動きは、中国の民族運動を発展させる大きな契機となった。

①[5 文学]革命([6 新文化]運動)
知識人による文学・思想面での新文化建設への啓蒙運動→儒教的な家族制度などを批判

1915 陳独秀ら雑誌「7 『新青年』」を創刊、胡適[8 白話(口話)]文学を主張
「民主と科学」がスローガン
[9 魯迅]「阿Q正伝」「狂人日記」などを発表
→中国の事大主義と変革への思いを記す

マルクス主義の研究もすすむ=[10 李大釗]ら(陳独秀も参加)

このようななかで新たな民族主義運動がおこってきた。1915年[11 陳独秀]らは雑誌「[12 『新青年』]」を創刊、[13 胡適]は白話文学をとえ、「阿Q正伝」などを書いた[14 魯迅]らがこれを発展させた。こうした動きを[15 文学革命]という。また李大釗は[16 マルクス主義研究]会を発足させ、中国共産党の基礎をつくった。

②[17 1919]年 [18 五四]運動発生、大学生→一般市民に
[19 ヴェルサイユ]条約反対、日貨排斥などを主張→政府、ヴェルサイユ条約調印を拒否

↓
反帝国主義・反封建主義の大衆運動の出発点

③1919 [20 孫文]、中華革命党(非公開組織)を改組、大衆政党の[21 中国国民党]を組織

1921 [22 陳独秀]らコミンテルンの支援のもとに[23 中国共産]党結成

1919年の[24 ヴェルサイユ]条約の内容が中国にとって不利であることに怒った北京大学の学生たちの運動をきっかけに[25 五四]運動が発生、広汎な民衆が参加した。こうした動きのなかで、孫文らは1919年、それまでの非公開組織であった[26 中華革命]党を改組して大衆政党としての[27 中国国民]党を結成、1921年[28 陳独秀]らは[29 中国共産]党を結成した。

b. 第一次国共合作と北伐の開始

①1917年 [30 ロシア]革命発生→[31 カラハーン]宣言を出す=帝国主義的な利権放棄を宣言

②孫文、新三民主義([32 連ソ・容共・扶助工農])を主張、反軍閥反帝国主義を説く(1923)
→[33 ソ連]から軍事顧問を受け入れる

③1924 [34 孫文]、国民党を改組し、[35 共産党員]の個人資格での入党を許可
([36 第一次国共合作])→1925 孫文死亡

④1925 上海で反帝国主義的大衆運動([37 五三〇]事件)発生→国民党内部の対立表面化
↓ 共産党の指導
国民党、[38 広州]で国民政府(広東政府)を樹立

⑤1926 国民政府、[39 蔣介石]を総司令として中国再統一をめざす[40 北伐]を開始
汪兆銘ら[41 武漢]政府を樹立=国民党左派+[42 共産党] 大衆運動重視

蔣介石ら 1927年3月 南京・上海を占領=左派勢力の台頭に脅威をもつ

孫文らの[43 国民]党は1924年「[44 連ソ・容共・扶助工農]」のスローガンにもとづき、個人資格で[45 共産]党員の入党をみとめた。これを第1次[46 国共合作]という。また1925年、上海で[47 五三〇]事件が発生すると孫文は[48 広州]に国民政府を樹立した。
この年、孫文は死亡するが遺志を引き継いだ国民党は1926年[49 蔣介石]を司令官に国家統一にむけ[50 北伐]を開始、翌27年には南京・上海を占領した。

⑥1927.4 蔣介石、[51 上海クーデタ]をおこし共産党員を弾圧([52 国共分離])
→[53 南京]に国民政府を樹立、主席となる、武漢政府も合流
上海の銀行家など

⑦国民政府=[54 浙江]財閥など大資本家や大地主勢力、[55 アメリカ][56 イギリス]などの支援を受けて北伐を再開→[57 軍閥]の多くも参加、中国統一?をすすめる

↓
⑧奉天軍閥の[58 張作霖]と結び[59 日本]は北伐を妨害するため[60 山東]出兵をくりかえす。
→1928[61 済南]事件発生
1928 北伐軍、北京を占領→張作霖、北京を脱出→日本、奉天郊外で[62 張作霖]を爆殺

⑦1928 張作霖の子、[63 張学良]国民政府に合流→北伐の終了
↓ =国民党による中国統一([64 国民革命])
国民政府、満州における[65 利権回復]をめざす→日本との対立激化

国民党左派と共産党は[66 武漢]政府を樹立したが、列強や大地主、大資本家とむすぶ国民党右派との対立を強めた。こうしたなかで蔣は1927年[67 上海]で反共クーデターをおこし共産党員を弾圧、[68 南京]で国民政府を樹立、列強の支持を受け、軍閥、地主とも連携した。そして1928年、日本の支持のもとで北京政府の実権を握っていた[69 張作霖]を追い北京に入城した。
北京を追われた[70 張作霖]は自らの拠点である中国東北部(「満州」)に逃げようとしたが、[71 奉天]郊外で日本軍に爆殺された。これに怒った彼の子[72 張学良]は日本に対抗するため、国民党に合流、中国統一は実現した。この一連の動きを[73 国民]革命という。